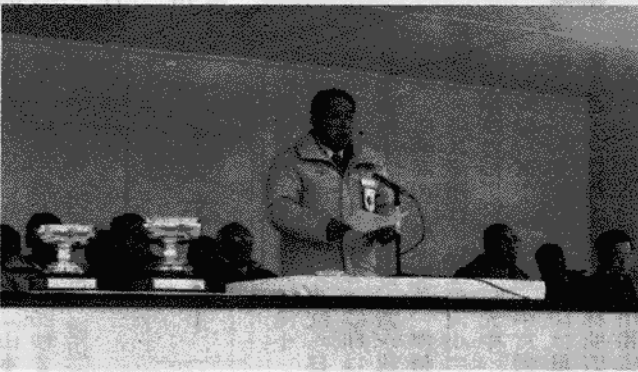


# 国体の記録

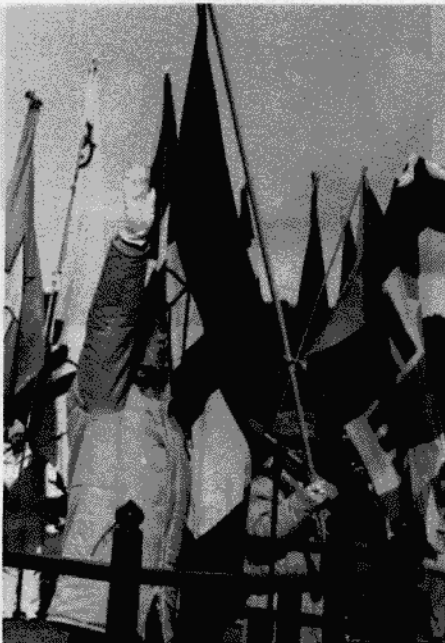
国体写真  
集から



▲常陸宮殿下のおことば



▲斎藤市長が  
歓迎のことば

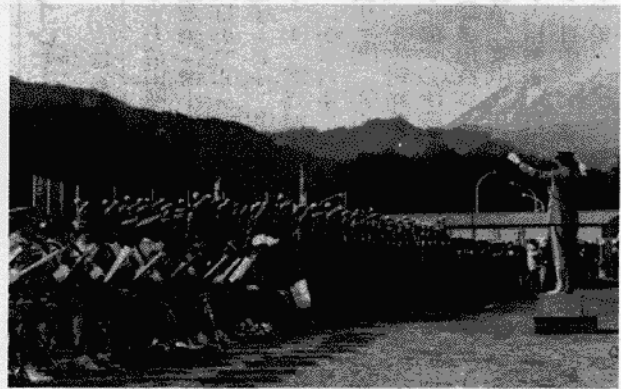


▲佐藤欣三選手(栃木)の力強い選手宣誓

第三十七回国民体育大会冬季大会は、一月二十六日から二十九日までの四日間、当市で(フィギュア競技は宇都宮市)六年ぶりに開催されました。二十六日、所野運動公園陸上競技場で行われた開会式は、常陸宮殿下をお迎えして盛大に行われました。

大会の結果は、優勝が期待されたアイスホッケーで、少年が宿敵北海道に、成年が青森に決勝戦で敗れ準優勝。総合で三位になりました。スピード競技では、少年男子五千円で伊合清隆選手(日高)が健闘、堂々三位に入り、本県選手でただ一人表彰台上に上りました。フィギュア競技は、前回の大会で四位入賞した井口耕二選手が期待されましたが九位にとどまりました。

二十九日、総合会館で行われた閉会式では、来年群馬県で開催される「あかぎ国体」での再会を誓い合う光景があちこちで見られました。そして、数々の思い出を残した「第三十七回国民体育大会冬季大会」は、無事、四日間にあつた競技の幕を閉じました。



▲日高の合唱隊が開会式に花を添えた



▲栃木県選手団の入場行進(旗手は柴田政秀選手)